

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	青年海外協力隊 里帰り促進プロジェクト
事業主体 (連絡先)	駒ヶ根協力隊を育てる会 (駒ヶ根市赤須町20-1)
事業区分	(6)オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	510,994円 (うち支援金: 371,000円)

事業内容

駒ヶ根市には全国に2か所しかない青年海外協力隊の訓練所があり、年間約700人の候補者が70日間滞在します。訓練期間中に地域住民とともに候補者を歓迎し、伊南地域の魅力を感じてもらい、任期終了後に、また、再訪してもらうため、以下の事業を行いました。

- ・ 激励旗を製作し、入退所日に合わせて当会会員と地域住民と協働し「協力隊通り」に激励旗を設置
- ・ 老朽化した「協力隊通り」の表示板を当会会員と地域住民と協働し修繕
- ・ 伊南地域の魅力を感じてもらうためのバスツアーの企画、実施
- ・ 伊南地域の魅力を紹介するチラシの製作、配布



【激励旗の設置作業】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①地域住民とともに激励旗の設置や「協力隊通り」の表示板の修繕を行うことで、青年海外協力隊を身近に感じてもらうことができ地域住民の青年海外協力隊候補者を歓迎するムードが高まった。
- ②バスツアーは非常に好評で、参加者(計64人)のアンケートから、「また違う季節に来てみたい」というような回答もあり、伊南地域の魅力を感じてもらえた。
- ③元隊員が参加しやすい国際イベントや、同期会を開催しやすいプランなどをまとめたチラシを製作し帰国隊員に配布することで、伊南への再訪を促した。

- ①地域住民に青年海外協力隊を身近に感じてもらう
- ②青年海外協力隊候補者へ向けて伊南地域の魅力の発信する
- ③元隊員に向けて伊南地域の魅力の発信する

※自己評価【A】

【理由】

半数以上の候補者が激励旗を認知していた。アンケートからバスツアーは非常に好評であり、帰国後の再訪を希望する候補者もいた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・ 候補者にこの地域に愛着を持ってもらえるように、引き続き激励旗の設置などを地域住民と行うことで歓迎ムードを盛り上げる。バスツアーは非常に好評であることから継続に向けて参加者負担の導入などを検討する。帰国隊員と接触するあらゆる機会をとらえて、製作したチラシの配布を引き続き行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)



【激励旗設置後】



【「協力隊通り」表示板修繕作業】



【「協力隊通り」表示板修繕後】



【魅力体感ツアー 春】



【魅力体感ツアー 夏】



【魅力体感ツアー 冬】